



音楽会の選曲に思いを馳せる 2024年11月22日

学校運営協議会の委員は、児童鑑賞日に行事の視察を行いました。どの学年も、すばらしい合唱・合奏でしたし、聞いている側の子どもたちの演奏に聞き入る姿も印象に残りました。子どもたちが、心をひとつにして歌い、それぞれの能力に合わせて、多様な楽器を奏でることができるのが、音楽会の魅力です。たくさんの児童の奏でる音が重なる、上ノ原小学校ならではのすてきな行事になりました。

音楽会の選曲は、先生方が思いを込めて決めています。例えば、6年生の合奏「アフリカンシンフォニー」は、アフリカの雄大な景色を想わせるリズムとメロディーが特徴です。先生方が、学年の特徴や子どもたちの特性を考慮して選曲し、さらに、担当楽器ごとに難易度を調整する事で音楽経験に差があっても、自分の役割を楽しみながら表現できる工夫もされていたそうです。本番は、打楽器などの多様な楽器を使って「音づくり」の楽しさを体感している様子が、聞いているこちらにまで伝わるような演奏でした。音楽会には、このメンバー、この瞬間でないと奏でられない特別な「音色」がありました。



学校運営協議会報告 2024年11月22日

【内容】

- ・会長挨拶
- ・音楽会鑑賞（児童鑑賞日）
- ・学校の状況報告
- ・音楽会の感想・意見
- ・意見交換
- ・その他

月
日
日
時

運営協議会は、午前中に視察した音楽会に関する意見交換が行われました。そして、校長より学校の状況報告の中で「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等指導上の諸課題に関する調査結果」が紹介され、不登校児童への支援の充実に向けた意見交換が行われました。登校支援教室「ステップルーム」の運営状況についても報告が行われました。調布市立学校教育課程編成の基本理念は「子ども一人一人を大切にする教育の実現」です。上ノ原小学校においても、これに沿った教育課程を編成していきます。その他、体育館横の松の木の別れセレモニーの様子についても報告がありました。

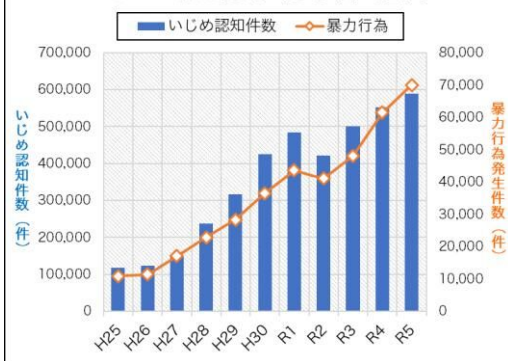


子供たちが安心して学校生活を送れるように

右のQRコードは、文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」で、令和5年度における「暴力行為」「いじめ」「長期欠席者」等の実態が調査されています。小学校のデータにおける主なポイントとして、「暴力行為」の発生件数が増加傾向にあること、「いじめ」の認知件数が増加傾向にあること、「長期欠席者」のうち不登校児童・生徒数が増加傾向にあることなどが報告されています。

調布市は、12月を「いのちと心の教育月間」と定め、命の大切さを考える期間としています。上ノ原小学校では「いのちの大切さ」を学ぶ道徳授業公開を全学級で行います。ぜひ、ご参観ください。子供たちが安心して学校生活を送れるよう、学校、ご家庭、地域が力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。

いじめ・暴力行為（小学校：推移）



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」Webサイト
（上記のグラフはデータをもとに作成）